

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	4-2-3		事業名	ファイターズ屋内練習場市民開放事業
担当	観光文化局スポーツ部企画事業課 福士 211-3044			
全体計画（当初）				
事業内容	プロが使用している北海道日本ハムファイターズの屋内練習場を特に小中学生チームが利用することで、青少年のスポーツ意欲の向上を図るとともに、市民がファイターズを身近に感じ、地元球団を応援する気運を高める事業。 （具体的な事業内容） NPO法人北海道野球協議会が北海道日本ハムファイターズから借上げたもののうち、少年野球対象に貸し出した場合の借上げ料相当額を同法人に対し補助する。 屋内練習場概要 延べ面積：3,700.12㎡ 構造：鉄骨造地上2階建て 施設内容：ネット間50m×50m 投球練習場4ヶ所 竣工：平成15年11月26日		＜年度別の事業内容＞	
			H16～18 同様の規模で継続	
事業内容 （量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）	
	小中学生利用分 ・利用日数：81日 ・利用コマ数：131コマ		小中学生利用分 ・利用日数：101日 ・利用コマ数：139コマ	
事業内容 （量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）	
	小中学生利用分 ・利用日数：110日 ・利用コマ数：160コマ		特に冬季における小中学生の野球練習に対し、一定の成果を果たすことができた。	
		課題		
		・冬季に比べて夏季の利用が少ないため、利用数増加のための方策を検討する必要がある。 ・冬季は予約が集中するため、利用可能日の拡大について、北海道日本ハムファイターズとの協議を継続していく。		
19年度以降の方向性・事業の予定				
今後も同様の規模で継続していくが、事業の安定化及び補助上限金額の削減に伴い、一部受益者負担の導入等についても検討を行っていく。				

新まちづくり計画 (H16 ~ 18) 事業総括調書 (単位:千円)

施策体系コード		4-2-3	事業名			
ファイターズ屋内練習場市民開放事業						
事業費の推移						
項目		16年度	17年度	18年度	計	進捗率(%)
計画	事業費	5,000	5,000	5,000	15,000	-
	財源内訳					
	国・道支出金				0	-
	市債				0	-
	その他一般財源	5,000	5,000	5,000	15,000	-
実績	事業費	3,850	3,003	3,430	10,283	68.6
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	-
	市債	0	0	0	0	-
	その他一般財源	0	0	0	0	-
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
[16年度] 屋内練習場整備の関係から6月からの開放となったこと、冬休み期間中の利用可能日が当初予定より少なくなったことによる減 [17年度] 初年度に比べ本部経費の削減が図られたことによる減 [18年度] 開放実績に伴う減						
主な施設、サービス等の整備水準						
項目	15年度末 (現状)	16年度末 (実績)	17年度末 (実績)	18年度末 (実績)	18年度末 (目標)	
関連予算事業内訳						
予算事業名(小事業名)	経・臨 臨時	枠内外 枠内	16年度	17年度	18年度	計
ファイターズ屋内練習場市民開放事業			3,850	3,003	3,430	10,283
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
計			3,850	3,003	3,430	10,283